

元気な中心市街地

をめざして

・ TMO事業を展開しています



市の顔とも言える市街地の商店街から「大型スーパーが撤退したり、商店のシャッターが下りたりして空き店舗が目立ち、寂しい限りです。」という声が聞こえてきます。このような声は蒲郡市だけでなく、全国的な声となっており、各地で「中心市街地における商店街の空洞化」が起き、大きな社会現象になっています。

こうした状況を受け、国は、各地の中心市街地が元気になるよう、平成10年7月24日に「中心市街地活性化法」を施行しました。この法の特徴的なものの中にTMO(タウンマネージメント機関)の設置があります。

TMOって？

TMOを簡単に説明すると、商店街を1つのショッピングセンター(モール)として考え、商店街の活性化を図る機関のことです。

具体的には、

- ・ 特徴のある商店街を目指し、区域内のテナントの配置や核となる店舗の誘致などを行う。
 - ・ 駐車場やポケットパークなどの環境整備をする。
 - ・ 美化、イベント、共通カードなどソフト事業を企画・運営する。
- などといった、商店街がまとまっていこう事業をするとき、そのまとめ役をTMOが行います。

蒲郡のTMOは？

市では、中心市街地に元気を取り戻していただきたいと考え、平成13年4月4日に「中心市街地活性化基本構想」を策定しました。この構想を基につくられた「中小小売商業高度化事業構想」では、TMOについて、次のように位置付けています。

① 蒲郡商工会議所がTMOにな

る。

② TMOは、各事業を推進するための企画調整機能を担うこととし、各事業は、主に商店街振興組合などの既存組織が実施主体となる。

③ TMOは、中心市街地における各事業の実施主体となる組織・民間企業・市民団体・行政など、関係する他の組織との関係を調整し、円滑な事業推進を図れるようにつとめる。

④ TMOは、各事業の実施主体となる組織において、事業推進の役割を担う人材育成につとめ、若手幹部が活動しやすい環境づくりをバックアップするとともに、研修会などを企画し、必要な情報提供を図る。

